

資料配布				
月/日(曜日)	担当部署名	電話番号	発表者 (担当者名)	その他配布先
1 / 18 (木) 14:00	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス	079-267-4088 (匠の技プロジェクト)	高度生産加工技術研究センター長 (工学研究科教授) 奥田孝一 (経営部長 大西 稔)	県政記者クラブ 中播磨県民センター

## 兵庫県立大学 匠の技プロジェクトフォーラム「先端技術に生きる匠の技」の開催

兵庫県立大学では、熟練工（匠）の技を取り入れ、地域、産業界等のニーズに対応した実践的ものづくり人材の育成を進める「匠の技プロジェクト」を展開し、多くの技術者研修会等の開催や、熟練工の技の見える化、デジタル化に取り組んでいます。

この度、高度に自動化された先端技術の中に生きる匠の技の重要性を考えるとともに、本プロジェクトの取組状況を紹介・報告するフォーラムを開催します。

### 1 日 時

平成30年1月29日（月） 14:00～17:00

### 2 場 所

姫路商工会議所5階501ホール（姫路市下寺町43）

### 3 内 容

#### (1) 特別講演Ⅰ

「超精密加工機を支える技能と技能者の育成 ～きさげ作業とその効果～」

（東芝機械株式会社ナ加工システム事業部 技術顧問 田中 克敏 氏）

#### (2) 特別講演Ⅱ

「船づくりからスタートした技術の系譜 ～船づくりからスタートした技術は、船に搭載する機械づくりから各種産業用の機械設備、プラントの製造や社会インフラの建設へと発展～」

（株式会社IHI 相生事業所 事業所長 小澤 重雄 氏）

「巨大ディーゼルエンジンの燃焼室で何が起きているのか ～シリンダー表面加工技術から稼働状態モニタリングシステムまで～」

（株式会社ディーゼルユナイテッド 製造部 部長 匠 宏之 氏）

#### (3) 「匠の技プロジェクト」成果報告Ⅰ

「匠の技プロジェクト ～これまでの取り組みと今後の展開～」

（匠の技プロジェクトリーダー 兵庫県立大学教授 奥田 孝一）

#### (4) 「匠の技プロジェクト」成果報告Ⅱ

「きさげ技術のデジタル化」

（兵庫県立大学准教授 布引 雅之）

「鏡面研磨技術のデジタル化」

（株式会社松一 代表取締役 松澤 正明 氏）

### 4 申込方法等

参加申込書(チラシ裏面)の必要事項を記入し、FAX 又は Eメールでお申込み下さい。

※ 詳細は、別添チラシをご参照ください。

### 5 申込み・問い合わせ先

兵庫県立大学高度生産加工技術研究センター 匠の技プロジェクト

TEL : 079-267-4088 Fax : 079-267-4089

E-mail : takumi2@eng.u-hyogo.ac.jp (担当 : 矢内、河野)



## 匠の技プロジェクト フォーラム

# 先端技術に生きる匠の技

平成30年 1月29日(月) 14:00~17:00 (受付開始 13:30)

姫路商工会議所 5階501ホール 参加費：無料

主催：兵庫県立大学大学院工学研究科高度生産加工技術研究センター

後援：兵庫県、姫路市、兵庫工業会、姫路経営者協会、兵庫県立大学産学連携・研究推進機構

兵庫県立大学では、熟練工の技を取入れた産官学連携ものづくり人材の育成事業、通称「匠の技プロジェクト」を立ち上げました。この事業は、兵庫県立大学と地域の企業、自治体が産官学協働により、熟練工の技（匠の技）を取り入れ、地域、産業界等のニーズに対応した実践的ものづくり人材の育成と体制整備を行おうとするもので、兵庫県の地域創生戦略にも位置付けられています。平成28年度より、多数の技術者研修会や講習会、企業見学会などを開催するとともに、関係企業の協力のもと「磨きの技」、「きさげの技」のデジタル化、見える化に取り組んできました。

このたび2年目のフォーラムでは、特別講演として高度に自動化された先端技術において人による熟練の技・匠の技の重要性について紹介いただくとともに、本事業のこれまでの取り組みの状況を紹介・報告させていただきます。多くの皆様のご参加を賜りたく、ご案内申し上げます。

## 「匠の技プロジェクト フォーラム」プログラム

### ●開会挨拶 (14:00~14:05)

太田 勲 (兵庫県立大学 学長)

### ●特別講演 I (14:05~14:55)

「超精密加工機を支える技能と技能者の育成 ~きさげ作業とその効果~」

田中 克敏氏 (東芝機械株式会社 ナノ加工システム事業部 技術顧問)

### ●特別講演 II (14:55~15:45)

「船づくりからスタートした技術の系譜 ~船づくりからスタートした技術は、船に搭載する機械づくりから各種産業用の機械設備、プラントの製造や社会インフラの建設へと発展~」

小澤 重雄氏 (株式会社 IHI 相生事業所 事業所長)

「巨大ディーゼルエンジンの燃焼室で何が起きているのか  
~シリンダー表面加工技術から稼働状態モニタリングシステムまで~」

匠 宏之氏 (株式会社ディーゼルユナイテッド 製造部部长)

### ●「匠の技プロジェクト」成果報告 I (15:55~16:10)

「匠の技プロジェクト~これまでの取り組みと今後の展開~」

奥田 孝一 (「匠の技プロジェクト」プロジェクトリーダー 兵庫県立大学教授)

### ●「匠の技プロジェクト」成果報告 II (16:10~16:50)

「きさげ技術のデジタル化」 布引 雅之 (兵庫県立大学准教授)

「鏡面研磨技術のデジタル化」 松澤 正明氏 (株式会社松一 代表取締役)

### ●閉会挨拶 (16:50~16:55)

山崎 徹 (兵庫県立大学 副学長兼産学連携・研究推進機構長)

特別講演 概要及び講師紹介

田中 克敏 氏 (たなか かつとし)

超精密加工はデジタルカメラ、液晶ディスプレイ、スマートホンの進化に対応して大きく発展してきました。最近では新しくヘッドライト、HUD、車載カメラなど自動車の安全運行のための機器での需要が生まれてきました。これらを支える超精密加工機にはサブナノメートルの挙動、精度が求められていますが、古い技能であるきさげやラップを進化させ対応しています。技能の重要性とこのような背景のもとに進化を続けている超精密加工機の現状を紹介いたします。

昭和36年、東芝機械株式会社入社。現在、技術顧問。超精密加工技術の研究と商品化に取り組み、空気静圧スピンドル、ポリゴンミラー加工機、超精密スライサー、超精密非球面加工機等を開発し、レーザプリンタ、HDD、デジタルカメラ、カメラ付携帯電話などの発展に貢献。日本機械学会技術功績(平成8年)をはじめ、精密学会第1回精密学会賞(平成17年)、Euspen Lifetime Achievement Award(平成21年)、砥粒加工学会熊谷賞(平成29年)など受賞歴多数。

小澤 重雄 氏 (おざわ しげお)

㈱IHIをはじめとする重工業メーカーの多くの製品は造船関連技術に由来しており裾野の広い事業、技術で総合力を生かし「技術を持って社会に貢献」しています。

基盤となる「溶接技術」、「熱処理技術」、「配管加工技術」、「組み立て技術」を駆使し、海外工場と協業しながら日本に残すべきものをしっかりと選別し技術・技能の伝承、コスト競争力の維持向上を図っています。IHIグループ、JMUグループの主要生産拠点である相生事業所を紹介いたします。

昭和56年、石川島播磨重工業株式会社(現IHI)入社。相生事業所相生第三工場に配属。平成3年、イランアザラブ社アラク工場にてボイラ生産技術移転に従事。平成14年、インドネシア チレゴンファブリケーターズ出向。ボイラ工場設立に従事。平成23年、株式会社IHI相生工場長。平成26年、インドネシア チレゴンファブリケーターズ社長。平成28年、株式会社IHI相生事業所長。現在に至る。

匠 宏之 氏 (たくみ ひろゆき)

30万tタンカーや1万4千個積コンテナ船の推進動力として活躍する大型2サイクルディーゼルエンジンは高さが15メートル、シリンダーの直径は82cm、ピストンのストロークは3.3メートルを超える巨大な機械製品です。

しかし一つ一つの部品には極めて高い加工精度が要求されます。大きいがゆえに高い精度で製作しなければ、誤差が積み重なり機能を満足できないためです。そんなディーゼルエンジンの心臓部である燃焼室部品に焦点をあて、加工技術から稼働中の状態監視システムまでをご紹介します。

平成4年、石川島播磨重工業株式会社(現IHI)入社。株式会社ディーゼルユナイテッドへ出向し設計部に配属。平成11年、品質管理部検査グループに異動し、シリンダーライナー/ピストンリングの焼付き問題への取り組みをスタート。平成23年、シンガポール駐在員事務所所長。シンガポールの港や修理ドックに入ってくる船に赴き、エンジンのトラブル解決や状態診断に従事。平成28年、製造部部長。現在に至る。プライベートでは、平成24年より兵庫県立大学アメリカンフットボール部監督としてチームを率いる。

会場案内



◆姫路商工会議所 5階501ホール

〒670-8505 姫路市下寺町43  
<https://www.himeji-cci.or.jp/accessmap/>

※姫路駅より徒歩の場合、約20分

※姫路駅よりバスの場合(下記アドレスにて運行状況をご確認ください)  
<https://navi.shinkibus.jp/snk>

◎日出町行乗車(16番のりば)⇒商工会議所前下車

◎鹿島神社行、夕陽ヶ丘行、別所駅行乗車(15番のりば)  
 ⇒坂田町下車

※駐車場(有料)はありますが、駐車台数に限りがあります。

参加申込・お問い合わせ先

下記申込書にご記入の上FAXで、または必要事項をご記入の上E-mailで、お申し込みください。先着順です。定員になり次第締め切ります(定員100名)。

〒671-2280 姫路市書写2167  
 兵庫県立大学 姫路工学キャンパス インキュベーションセンター2階 9203号室  
 高度生産加工技術研究センター「匠の技プロジェクト フォーラム」係  
 TEL.079-267-4088 FAX.079-267-4089  
 E-mail takumi2@eng.u-hyogo.ac.jp  
 ホームページ <http://www.eng.u-hyogo.ac.jp/center/AMT/main/index.html>

「匠の技フォーラム」参加申込書 申込先 FAX: 079-267-4089 E-mail: takumi2@eng.u-hyogo.ac.jp

企業/団体名	住所 〒
連絡先TEL	E-mail

参加者氏名(ふりがな)	部署名・役職名(学生の方は役職名に学と記入)

※お申し込みにあたってお預かりする個人情報は、フォーラムの準備・運営及び主催者からの情報提供に利用させていただきます。